

研究課題名	小児における摂食嚥下障害および構音障害に対する口腔内装置による効果に関する研究
研究責任者名	広島大学病院小児歯科 助教 太刀掛 銘子
研究期間	2006年4月(倫理委員会承認後)～2030年3月
対象者	2006年4月から2029年3月の間に、県立広島病院小児感覚器科で摂食嚥下障害および構音障害による治療を受けられた0歳～18歳の患者さん。
意義・目的	高齢者においては、摂食嚥下障害や構音障害の機能改善を目的とした口腔内装置の中で最も応用頻度の高い舌接触補助床のガイドラインが作成され、その有効性についても報告されていますが、小児においては術者の裁量にゆだねられており、嚥下造影検査にて客観的に評価されることは少ないです。小児における嚥下造影検査において舌運動の動態評価を行うことにより、舌運動の画像による評価システムの構築を行い、口腔内装置の有効性についても画像により客観的に評価することにより、機能回復や発達誘導のために小児におけるハビリテーションプログラムの確立を目的とします。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、基礎疾患、口腔内所見、治療経過、嚥下造影検査画像です。収集した情報・画像から、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないように加工した上で広島大学病院に提供し、共同で解析されます。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
研究の実施体制	研究代表者 広島大学病院小児歯科 助教 太刀掛 銘子 共同研究機関 県立広島病院小児感覚器科 主任部長 益田 慎
試料・情報の管理責任者	広島大学病院小児歯科 助教 太刀掛銘子
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。
問合せ・苦情等の窓口	

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5698

広島大学病院小児歯科 助教 太刀掛 銘子

研究機関：広島大学